

平成26年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 倉元製作所

コード番号 5216 URL <http://www.kuramoto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 聡

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 柴田 哲

TEL 0228-32-5111

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	1,728	2.9	58		94		107	
25年12月期第1四半期	1,679	21.4	49		78		86	

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 104百万円 (%) 25年12月期第1四半期 66百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年12月期第1四半期	6.67	
25年12月期第1四半期	5.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
26年12月期第1四半期	11,426	3,462	30.3	214.49
25年12月期	11,788	3,566	30.3	220.96

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 3,462百万円 25年12月期 3,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年12月期		0.00		0.00	0.00
26年12月期					
26年12月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	4,000	6.5	200	132.9	170	141.9	110	24.9	6.81
通期	8,500	9.4	600	129.5	500	136.5	400	57.1	24.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期1Q	16,143,170 株	25年12月期	16,143,170 株
期末自己株式数	26年12月期1Q	880 株	25年12月期	880 株
期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期1Q	16,142,290 株	25年12月期1Q	16,142,290 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年1月1日～平成26年3月31日）におけるわが国経済は、景気回復のペースが昨年の夏場以降に一時的に鈍化したしましたが、消費税率引き上げ前の駆け込み需要等により年明け以降の景気は再び勢いを取り戻し、企業業績の改善に繋がりました。

一方、当社グループの主力市場である液晶ディスプレイ業界では、スマートフォンやタブレット端末市場の伸びが金額ベースで鈍化した影響を受け、当第1四半期連結累計期間の受注は伸び悩みました。また、[精密研磨布事業]は、ハードディスクドライブの在庫調整が一段落したこと等に伴い受注が回復いたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,728百万円（前年同四半期比2.9%増）に、損益面では[ガラス基板事業]の操業度低下等の影響を受け、営業損失は58百万円（前年同四半期の営業損失は49百万円）に、経常損失は94百万円（同経常損失は78百万円）に、四半期純損失は107百万円（同四半期純損失は86百万円）となりました。

[ガラス基板事業]

ガラス基板事業においては、スマートフォンやタブレット端末市場の成長鈍化の影響を受け受注が低迷し、売上高は1,022百万円（前年同四半期比7.1%減）に、セグメント損失は87百万円（前年同四半期セグメント損失は13百万円）となりました。

[精密研磨布事業]

精密研磨布事業は、受注の回復により、売上高は662百万円（前年同四半期比26.3%増）に、セグメント利益は75百万円（同444.6%増）となりました。

[その他事業]

その他事業は、産業用機械製造販売等ではありますが、売上高は68百万円（前年同四半期比4.6%増）と若干増加し、セグメント損失は51百万円（前年同四半期セグメント損失は58百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて362百万円減少し、11,426百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の増加の一方、受取手形及び売掛金の減少などにより342百万円減の3,870百万円に、固定資産は、有形固定資産の取得の一方、減価償却費の計上などにより20百万円減の7,555百万円となりました。

(負債の部)

負債は、支払手形及び買掛金の減少、借入金の返済などにより257百万円減少し、7,964百万円となりました。

(純資産の部)

純資産は、四半期純損失の計上に伴い利益剰余金の欠損が拡大したため、104百万円減少し、3,462百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

市場環境の不透明感はありますが、当社グループでは得意先のニーズを的確に捉え、新たな付加価値のための技術構築に注力するとともにモノづくり力を一層強化し、今後の収益の確保に努めてまいります。

平成26年12月期の通期業績予想については、平成26年2月13日の「平成25年12月期決算短信」公表時の予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、過年度より抜本的な経営体質の改善及び収益基盤の強化を継続実施しております。当第1四半期連結累計期間においては、[ガラス基板事業]の受注の減少により、営業損失58百万円、経常損失94百万円を計上するに至っておりますが、第2四半期以降においては、受注の回復が見込まれており、収益構造の改善及びキャッシュ・フローの安定化が引き続き図られております。その一方で、取引金融機関に対する借入金の返済猶予の状況は継続しており、取引金融機関によって期限の利益の確保が短期にとどまっている状況となっております。これにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

そこで、当社グループは当該状況を解消するための対応策として、ますます収益構造及びキャッシュ・フローを安定化すべく経営体質のさらなる改善を推し進めるとともに、それらを反映した事業計画を策定し、これに基づく借入金返済計画について取引金融機関からの同意を得られるよう協議しております。その結果、全ての金融機関から返済計画に対する一定の同意が得られております。

以上を踏まえ、収益構造及びキャッシュ・フローの安定化と取引金融機関からの一定の同意が得られていること等を総合的に勘案した結果、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,193,564	1,313,728
受取手形及び売掛金	2,157,107	1,704,283
商品及び製品	161,646	137,945
仕掛品	225,493	256,710
原材料及び貯蔵品	217,476	211,205
繰延税金資産	197,713	197,780
その他	60,487	49,584
貸倒引当金	△446	△386
流動資産合計	4,213,044	3,870,851
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,206,213	2,167,719
機械装置及び運搬具(純額)	1,356,264	1,376,221
土地	3,458,305	3,458,305
その他(純額)	109,787	110,514
有形固定資産合計	7,130,570	7,112,760
無形固定資産	79,484	78,544
投資その他の資産	365,670	364,256
固定資産合計	7,575,725	7,555,561
資産合計	11,788,769	11,426,413
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	535,555	430,259
短期借入金	4,432,318	4,372,552
1年内返済予定の長期借入金	337,998	318,726
未払金	576,360	625,801
未払法人税等	30,582	21,693
賞与引当金	-	31,350
営業外支払手形	34,018	29,754
その他	195,166	152,656
流動負債合計	6,141,998	5,982,794
固定負債		
長期借入金	1,732,337	1,647,240
繰延税金負債	50,897	52,680
退職給付引当金	110,837	105,903
役員退職慰労引当金	101,002	101,660
その他	84,855	73,727
固定負債合計	2,079,930	1,981,211
負債合計	8,221,928	7,964,006

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,885,734	4,885,734
資本剰余金	6,335,992	6,335,992
利益剰余金	△7,748,992	△7,856,709
自己株式	△411	△411
株主資本合計	3,472,324	3,364,607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94,516	97,799
その他の包括利益累計額合計	94,516	97,799
純資産合計	3,566,840	3,462,406
負債純資産合計	11,788,769	11,426,413

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	1,679,486	1,728,926
売上原価	1,420,915	1,497,565
売上総利益	258,571	231,360
販売費及び一般管理費	308,144	289,521
営業損失(△)	△49,572	△58,160
営業外収益		
受取利息	441	408
不動産賃貸料	1,783	2,231
補助金収入	9,445	1,622
その他	6,430	3,709
営業外収益合計	18,100	7,971
営業外費用		
支払利息	42,041	39,494
その他	5,428	5,036
営業外費用合計	47,470	44,531
経常損失(△)	△78,941	△94,720
特別利益		
固定資産売却益	—	986
特別利益合計	—	986
特別損失		
固定資産除却損	0	249
特別損失合計	0	249
税金等調整前四半期純損失(△)	△78,941	△93,984
法人税、住民税及び事業税	3,724	13,752
法人税等調整額	3,878	△19
法人税等合計	7,602	13,732
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△86,544	△107,717
四半期純損失(△)	△86,544	△107,717

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△86,544	△107,717
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,129	3,282
その他の包括利益合計	20,129	3,282
四半期包括利益	△66,415	△104,434
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△66,415	△104,434

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガラス基板	精密研磨布	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,101,393	517,393	1,618,786	60,700	1,679,486	—	1,679,486
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7,396	7,396	4,391	11,787	△11,787	—
計	1,101,393	524,789	1,626,182	65,091	1,691,274	△11,787	1,679,486
セグメント利益又は損 失(△)	△13,880	13,804	△75	△58,900	△58,975	9,403	△49,572

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額9,403千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガラス基板	精密研磨布	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,022,868	643,490	1,666,359	62,567	1,728,926	—	1,728,926
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	19,119	19,119	5,513	24,632	△24,632	—
計	1,022,868	662,610	1,685,478	68,080	1,753,559	△24,632	1,728,926
セグメント利益又は損 失(△)	△87,637	75,180	△12,456	△51,532	△63,989	5,828	△58,160

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、産業用機械事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額5,828千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。